

「神奈川県立精神医療センターにおける急性期病棟の取り組み、単科病院での断らない精神科救急医療の可能性に関する研究」へのご協力をお願い

当院では地域を対象としたアンケート調査の結果をもとに、2023 年度から入院相談への対応方法を見直し、入院依頼を断らないことを目標とした取り組みを行っています。当院は精神科単科病院であるため、どうしても対応することができない全身状態の条件や身体状況をあらかじめ抽出し、それらに該当する場合は他院との連携の可能性を考慮するなどしています。また、精神症状に応じた病室を準備すべくベッドコントロールを行い、日々円滑で迅速な入院加療開始を実現するために多職種で取り組んでいます。この研究において入院相談への対応見直し前後での入院状況の比較を行うことで、入院加療を要する患者様への適切な医療提供に役立つと考えております。

研究課題名	神奈川県立精神医療センターにおける急性期病棟の取り組み、単科病院での「断らない」精神科救急医療の可能性に関する研究
研究の対象	2022 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に当院救急病棟に入院された方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	当院では通院患者様だけでなく、他院や地域からの依頼を受けて入院加療を行っています。精神科救急医療では迅速さが求められます。精神科単科病院である当院では身体合併症のある患者様におかれましては、やむを得ず対応不可となってしまう場合があります。そのような現状を解決するために他院と連携を行うことができるよう工夫するなど、患者様から入院相談にできる限り応じたいと考えております。そのために、入院相談への対応見直し前後において入院状況を比較し、より良い精神科入院医療の方法を検討します。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報が入部漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2025 年 3 月 31 日まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（年齢、性別、診断名、主訴、入院時入院形態、入院日数、生育歴、現病歴など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：医師 北川 理映子
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	北川理映子（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022 年 4 月 1 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定することはできません。

本研究は神奈川県立精神医療センター内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 医師 北川 理映子
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241